

事務事業名		減農薬のための性フェロモン剤導入支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	産業文化部	担当課	農政課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	農業振興係	担当課長名	藤掛広行	
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 施設園芸・果樹栽培の推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	8789	一般	6	1	3	減農薬のための性フェロモン剤導入支援事業					
	事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業		任意的事業・義務的事業		任意的事業		
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H5年度～ 年度		根拠法令 条例等	実施方法		直営			
					佐野市補助金交付規則	事業分類		支援事業			
						リーディングプロジェクト		該当なし			
					市長マニフェスト		3-8				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
農薬を減らし環境保全型農業を推進するため、JA佐野果樹部会で実施する、「なし」「もも」等の害虫を予防する性フェロモン剤導入事業に対し、その費用の一部を助成する。 * JA佐野果樹部会は、市内の果樹生産農家で構成され、共同で農産物の出荷や品質向上・安定生産に向けた検討協議を行っている。			(市の活動) JA佐野果樹部会に対する補助金交付手続きを実施 (JA佐野果樹部会の活動) 会員農家に対し、性フェロモン剤導入事業(45.0ha)を実施した。							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			性フェロモン剤導入農家数	戸	59	58	58	58	58	58
			性フェロモン剤使用面積	ha	32	45	45	45	45	45
			性フェロモン剤使用量	本	34,580	35,910	36,000	36,000	36,000	36,000
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
JA佐野果樹部会員(果樹生産農家)			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			JA佐野果樹部会農家数	戸	59	58	58	58	58	58
目的 ③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
果樹農家の方々に農薬を減少させる環境保全型農業の推進への理解を深めてもらう。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			性フェロモン剤導入農家割合	%	100	100	100	100	100	100
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)										
施設園芸農家、果樹栽培農家が安定した経営ができています。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			施設園芸取扱量	トン	-	1,421	1,565	1,580	1,590	
			果樹栽培面積	a	-	3,427	3,240	3,260	3,280	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	612	629	800	800	800	
	事業費計(A)	千円	612	629	800	800	800	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			補助金	612	補助金	629	補助金	800
	人件費	人	1	1	1	1	1	
のべ業務時間	時間	60	60	60	60	60		
人件費計(B)	千円	233	236	236	236	236		
トータルコスト(A)+(B)	千円	845	865	1,036	1,036	1,036		

事務事業名	減農薬のための性フェロモン剤導入支援事業	担当部	産業文化部	担当課	農政課	担当係	農業振興係
-------	----------------------	-----	-------	-----	-----	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	環境保全型農業に対する取り組みの必要性や消費者の食の安全性に対するニーズの高まりを契機に平成5年度から開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	消費者の安全・安心な食品に対する要求は年々増しているため、減農薬の要望が強まっている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	事業対象者からは継続の要望が強い。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
受益者負担の適正化	受益者負担については現状どおりとなったが、使用薬剤の変更により事業費削減につながっている。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	減農薬事業を支援することにより、園芸産地としての付加価値が高まり、施設園芸・果樹栽培の推進による都市型農業の振興につながる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	安全・安心な農産物の生産のため、減農薬への取組みに支援が必要と考える。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	果樹農家の農薬使用量を減らし、かつ品質向上・生産安定を図ることは、施設園芸・果樹栽培の発展に寄与するため妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案	果樹を出荷する果樹農家の大部分が実施しているため、新たな対象の増加は見込めないが、事業内容については使用する薬剤(フェロモン剤)の種類を見直すなど、適正な効果を保持しながらコスト削減を検討していく。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？		類似事務事業名	
	*類似事務事業があれば、名称を記入		理由・改善案	
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	事業内容の見直しや、受益者の負担割合を増やすことにより補助額を減らすことができる。また、現状の事務は補助金の支払事務であるため、人件費の削減はできない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	現在の受益者負担を見直す必要がある	理由・改善案	補助額は事業費の30%(予算上限)となっているが、自立に向けた対策を講じるとともに、補助率の見直しも必要がある。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
	各果樹農家により事業実施が自立し、補助の必要がなくなったとき。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																		
事業のやり方改善(コストの見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 事業費を削減するため、使用する薬剤の種類を随時見直すなど、適正な効果を保持しながらコスト削減に取り組んでいく。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	○	×	低下	×	×	薬剤の変更や、効果的使用数量の把握
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	○	×																	
	低下	×	×																	